



カセットテープで聞いた自分の声はなぜちがうの

音の聞こえ方はいろいろある

自分の声は、耳から聞いているだけではありません。

ふつう、わたしたちが聞いている音は、音を出しているもののふるえが、空気などを伝わって、耳から入ってきてこまくをふるわせ、それが耳の奥の神経に伝えられて、聞こえていることは知っていますね。

ところが、あなたの頭をコンコンとたたいた音や、おなかがグーっと鳴った音など、自分の体で出した音はどうでしょう。耳をふさいでも、聞こえてきます。

つまり、音は、耳から入ってきたものを、聞いているだけではないのです。

カセットテープで聞いた自分の声が、ちがって聞こえるのはそのためです。

ほかの人には、カセットテープに録音した声も同じに聞こえる

あなたがあなたの声を聞く場合、あなたはあなたの声を、耳から聞いているだけではありません。声は、あなたの肺から出た空気が、のどにある声帯をふるわせて出ています。

あなたはあなたの声を、耳から聞いているだけでなく、声帯のふるえが骨などを伝わって、体の内がわから耳の奥の神経に伝わった音も、同時に聞いていることになります。

この音は、空気などを伝わず、直接、耳の奥の神経に伝わったものですので、耳から聞いた音とは、ちがって聞こえます。そのため、カセットテープに録音した声は、ちがう声のように、あなたには聞こえるのです。

しかし、カセットテープに録音したあなたの声は、ほかの人には、いつものあなたの声と同じように聞こえるのです。（監修・保志 宏）

